

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

# 月刊 温根内 通信

2026年5月号 No.356

5月15日(金)発行



## 春の風に吹かれて

今年は何だか、木々の花が鮮やかなように思います。今は道路沿いのエゾノウワミズザクラが満開です。さて、エゾヤマザクラはどちらかというと例年通りの綺麗さでした。温根内周辺にもいくつかエゾヤマザクラの木は立っていますが、丈が大きいのでなかなか間近で花を愛でることができません。そう思った時、春の強風に吹かれた花びらが水面に浮いているのを見つけました。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（4/15～5/14） ☆☆☆



【エンコウソウ】  
キンポウゲ科 猿猴草  
花をつける茎が横に這うのが特徴。よく似たエソノリュウキンカとはこの花茎の伸び方が違いになります。



【ホロムイツツジ】  
ツツジ科 幌向躑躅  
ミスゴケ湿原に華やかさを添える最初の花。エソシカの食害にも負けず咲いてくれています。



【クロミノウグイスカグラ】  
スイカズラ科 黒実鶯神楽  
下向きに咲く花には白い毛が密集しています。別名はハスカップで、秋に紫色の実をつけます。



【フデリンドウ】  
リンドウ科 筆竜胆  
枯れ葉の間から1cm程度の花を咲かせていました。気づかずに通り過ぎることも多いです。



【オオバナノエンレイソウ】  
シュロソウ科 大花延齢草  
白い花弁は個体によって形や大きさにばらつきがあります。大きい花弁は迫力すら感じられます。



【サカハチチョウ】 タテハチョウ科  
やや小型のタテハチョウ科の間。越冬した個体が訪花していました。夏に見る夏型個体とは模様がやや異なります。

○表紙の写真 上・下：エソヤマザクラ

## ☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（4/15～5/14）☆☆☆

釧路湿原は繁殖のために渡ってきた夏鳥が賑わいを見せています。木々の葉もまだ生い茂らず、バードウォッチングには最適な季節です。ビジターセンター周辺ではクロツグミやセンダイムシクイ、ウグイスなど、湿原内ではアオジやノビタキ、オオジュリンなどの姿がよく見られています。ビジターセンターでは双眼鏡の貸し出しも行っていきますのでお気軽にお声がけください。



【クロツグミ】 夏鳥

ツグミ科 黒鶇

滅多に姿を見せてくれませんが、湿原をトコトコ歩いて餌を探していました。橙色の嘴と脚も鮮やかです。



【アオジ】 夏鳥

ホオジロ科 青鷗

最もよく見られる代表的な夏鳥。樹上で囀っていたり、舌打ちのような地鳴きとともに急に現れることも。



【ベニマシコ】 夏鳥

アトリ科 紅猿子

「ピ・ポ・ポ」の声に誘われて探してみると…オスの赤いボディはやはり印象的です。そばにはメスの姿も。

## ○温根内木道周辺で観察された花・鳥（4/15～5/14）

花（和名は五十音順 * 外来種）	28 シラカンバ	56 ミミナグサ	21 ハシブトガラス
1 アオイスミレ	29 セイヨウタンポポ*	57 ミヤマスミレ	22 ヒガラ
2 アキタブキ	30 タガネソウ	58 ヤチャナギ	23 ハシブトガラ
3 イタヤカエデ	31 タチツボスミレ	59 ヤラメスゲ	24 シジュウカラ
4 イヌコリヤナギ	32 タチャナギ	60 レンブクソウ	25 ヒヨドリ
5 ウスイロスゲ	33 チシマネコノメソウ	61 ワサビ*	26 ウグイス
6 ウラホロイチゲ	34 ツボスミレ	62 ワタスゲ（花+実）	27 ヤブサメ（5/1 初認）
7 エゾエンゴサク	35 ツルスゲ	鳥（和名は日本鳥類目録第8版の順）	28 エナガ
8 エゾオオサクラソウ	36 ナガバヤナギ	1 マガン	29 センダイムシクイ（5/3 初認）
9 エゾネコノメソウ	37 ナズナ	2 オオハクチョウ	30 エゾムシクイ（4/22 初認）
10 エゾノクサイチゴ	38 又マハコベ	3 ヒドリガモ	31 メジロ（4/26 初認）
11 エゾヒメアマナ	39 ネコノメソウ	4 マガモ	32 ミソサザイ
12 エゾヤマザクラ	40 ノハラムラサキ*	5 コガモ	33 ゴジュウカラ
13 エンコウソウ	41 バッコヤナギ	6 ツツドリ（5/10 初認）	34 キバシリ
14 オオバタネツケバナ	42 ハリスゲ	7 キジバト（5/11 初認）	35 クロツグミ（4/17 初認）
15 オオバナノエンレイソウ	43 ハンノキ	8 クイナ（4/25 初認）	36 アカハラ（4/27 初認）
16 カサスゲ	44 ヒエスゲ	9 タンチョウ	37 オオルリ（5/3 初認）
17 カブスゲ	45 ヒカゲスゲ	10 オオジシギ	38 ノゴマ（4/29 初認）
18 ガンコウラン	46 ヒメイチゲ	11 タシギ	39 ノビタキ
19 キジムシロ	47 ヒメカイウ	12 アオサギ	40 キセキレイ（4/23 初認）
20 キタミフクジュソウ	48 ヒメシャクナゲ	13 トビ	41 ハクセキレイ（4/16 初認）
21 キヌヤナギ	49 ヒメタガラシ*	14 オジロワシ	42 ピンズイ（5/1 初認）
22 クロミノウグイスカグラ	50 フクジュソウ	15 ノスリ	43 タヒバリ
23 ケヤマハンノキ	51 フデリンドウ	16 アリスイ（4/17 初認）	44 ベニマシコ
24 コハコベ	52 ホロムイスゲ	17 コゲラ	45 カワラヒワ
25 サギスゲ	53 ホロムイツツジ	18 アカゲラ	46 カシラダカ
26 サッポロスゲ	54 ミズバショウ	19 モズ	47 アオジ（4/15 初認）
27 サワシバ	55 ミツバツチグリ	20 ハシボソガラス	48 オオジュリン

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

## ☆☆☆☆ 自然ふれあい行事を開催しました ☆☆☆☆

○「温根内の植物ダイジェスト」4月19日 参加者：18名 講師：藤原伸也（温根内 VC 指導員）

まだ湿原が華やかになる前の4月の温根内。これから1年間どんな植物が見られ、どんな楽しみ方ができるかを紹介するイベントを行いました。館内では温根内木道で見られる花や実を季節ごとに見てもらい、その美しさや見つけるコツなどを解説しました。また、昨年新たに温根内で見つかった植物も紹介し、こんなところにこんな花が！という驚きが参加者にも伝わったよ



うでした。イベントの後半は外に出て、普段は歩かない右岸堤防方向へ案内しました。通路の途中には鮮やかな紫のミヤマスマシレが早くも開花して



おり、スマシレ科の特徴を観察しました。右岸堤防に出るとミズバショウが見頃を迎えており、参加者からは感動の声が漏れました。さらに帰り際にはエゾヒメアマナ、エゾエンゴサク、アオイスミレなどの可憐なスプリングエフェメラルを観察し、いつもと違う温根内の花々を堪能しました。

## ☆☆☆☆ 木道がすべて通れるようになりました！ ☆☆☆☆

お待ちせしました。4月23日より、木道の改修工事が終了し、現在はすべての区間が通行できるようになっております。今回新しくなったのはミズゴケ湿原のさらに奥のハンノキ林の区間（73番～94番）です。枯れたハンノキ林が独特な風景を作り出している区間です。ぜひ足をお運びください。



## ☆☆☆☆ イベントのご案内（6月）事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

### ♪初夏の花を見に行こう

〔日時〕6月7日（日）10:00～12:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

釧路湿原によいよ花のシーズン到来です。初夏を代表する湿原の花々を観察しましょう。



○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

### ♪新緑の湿原 茅沼奥のほそみち探検

〔日時〕6月6日（土）10:00～13:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

### ♪夏の湿原 野鳥観察会

〔日時〕6月27日（土）8:00～10:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

～春の「スゲ」にも注目！～

湿原に目を凝らすと、ブラシや筆のような花をつけたスゲの仲間がたくさん見られます。種によって花のつき方に特徴があり、見分けられるようになりますと面白いですよ！



カブスゲの花

月刊 温根内通信 No. 356

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料